

大府市長 岡村 秀人 様

大府市学童保育連絡協議会  
会長 鈴木 敬 升  
連絡先 神田わんぱくクラブ  
電話 0562-48-7324(担当:佐藤)

## 要望書

日ごろ、放課後児童の生活の充実のためにご尽力頂き、ありがとうございます。

また、その過程において民間放課後児童クラブの運営場所にかかわる相談より、大府市放課後児童健全育成事業施設整備費補助金交付要綱という形での補助を実現頂いたこと、感謝申し上げます。

国は今後も増加が予想される放課後児童の受け皿の拡充、保育の質の確保を図り、放課後児童の健全育成がなされるよう学童保育に対する補助金交付を充実させています。私たち大府市学童保育連絡協議会は、例年のように担当課の方々と予算要望に関する懇談会と市長懇談会を開催して頂き、大府市の学童保育の未来について懇談できる場をお願いしたいと考えています。

以下、どろんこクラブ・神田わんぱくクラブ（両クラブ）への補助金の増額や連携のあり方について検討していただき、7月中旬ごろ担当課懇談会を設けてくださるようお願いいたします。

### 記

- (1) 学童保育支援員の処遇改善に向けて、国の補助事業として支援員の処遇改善に関わるものは引き続き予算化をお願いいたします。
  - ・「放課後児童支援員等処遇改善等事業」は、放課後児童クラブにおける、常勤・非常勤職員の賃金改善に必要な経費の補助です。引き続き予算化をお願いいたします。
  - ・「放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業」が国の補助事業において交付されていますが、増額されました。放課後児童支援員の安定的雇用のために、引き続き予算化をお願いいたします。
  
- (2) 特別な配慮を必要とする児童の加配について、今後も相談をさせてください。
  - ・両クラブともに特別な配慮を必要とする児童の受け入れを行っています。特別な配慮が必要だから「民間」を選んだという世帯もあります。  
巡回アドバイザーなど支援相談ができる環境を作ることを含め対応が難しいケースについて、現在の大府市における巡回アドバイザーの導入有無を教えてください。また有であれば実施形態を教えてください。（保育所等での適用の有無等）。
  - ・推進指導員の公設放課後クラブへのかかわり方について教えてください。
  - ・診断名や各種手帳を所持していない児童についても加配が必要とクラブが判断した場合には、「障害児受入推進事業」や「障害児受入強化推進事業」の申請の相

談を今後もさせていただきます。

(3) 「放課後児童クラブ育成支援体制強化事業」申請を、今後も相談させていただきます。

- ・本事業は、遊び及び生活の場の消毒・清掃、おやつが発注・購入、会計事務等の運営に関わる業務、児童の宿題等の学習活動が自主的に行える環境整備の補助等、育成支援の周辺業務を行う職員の配置のための事業です。
- ・両クラブは、保護者が運営主体となっているため、多くの業務（会計業務、買い出し、環境整備など）を利用者である保護者が過大に担っています。昨年、一昨年ともに本事業を申請し、事務を担当する職員を配置することで、支援員と保護者負担を軽減できました。

(4) 民間学童の運営場所（施設整備・移転・賃借料）に関わる補助金申請の相談をさせていただきます。

- ・喫緊の課題であったどろんこクラブの引っ越し先が決まり、資金面での援助をいただけたことから短期的な運営継続の危機を脱することができました。しかしながら、コストと立地を天秤にかけながら、家庭を持つ父母が多大な労力を注ぐことは、運営継続に大きな負担となり、変わっておりません。
- ・1～3については大府市で活動するすべての民間放課後クラブが対象となるよう検討をお願いいたします。
  1. 「放課後子ども環境整備事業」における「放課後児童クラブ環境改善事業」や「子ども・子育て支援施設整備交付金」を使用した引っ越し先の改修
  2. 家賃補助・移転にかかる補助
  3. 空き家対策を念頭にした、自治体による運営場所の提供。

(5) 所得の少ない世帯や多子世帯の保育料減免実施に対する補助を大府市として予算化をお願いいたします。

- ・現在、どろんこクラブ・・・ひとり親世帯の保育料半額減免，多子世帯 2 人目 25%減免，3 人目 33%減免  
わんぱくクラブ・・・4 人目から保育料半額減免，ひとり親家庭 1,000 円減免
- ・学童保育を必要としている家庭が入所できるように両クラブとも努力しています。放課後クラブでは、就学援助費受給世帯は全額免除されていますので、民間学童においても、就学援助費受給世帯については、同等の金額（月額 5,000 円）の補助の予算化をお願いいたします。

以上